

第2次廿日市市産業振興ビジョン進捗管理シート

施策/目標指標		個別施策	目的	令和8年度主な取組内容	令和8年度課題／困りごと、今後の見通し	個別施策指標
方向性1 「人」	1-1 地元就業の促進と 人材の育成・確保 目標指標：採用目標人数を確保できている事業者の割合	①地元企業の 魅力発信支援	若者を中心とした市民全体が地元事業者の魅力に触れる機会を創出し、市民全体の事業者認知度向上を図り、地域産業への理解と愛着を育むことで、地元定着とUターン就職を促進する。	1. 市内企業を紹介する冊子を作成し、市内中学校、高校の生徒への配布、近隣大学への配架、二十歳の集いでの配布を行い市内企業の周知を図る。【産業まちづくり委員会】 2. ハローワーク廿日市との共催で高校、大学の進路指導員およびキャリアセンター担当者向けに、市内企業見学ツアーを行い、市内企業認知度向上を図る。8月開催予定で、ユースエール認定企業を訪問予定。【産業まちづくり委員会】	1. 発行から5年目となるため新規掲載事業者が限られてきた。今年度は子育てに優しい街を全面的にPRを行っていく。【産業まちづくり委員会】	地元事業者の魅力発信 施策への参加数
		②地元事業者就職支援	事業者と求職者が直接つながる機会を創出など、事業者の採用活動を多面的に後押し事業者の魅力や働きがい効果的に伝え、地元就職の促進と人材定着を実現する。	1. ハローワーク廿日市と協同で就職ガイダンスを開催する。2027年2月開催で会場はまるくる大野を予定。ターゲットは子育て世代とシニア世代向け。開催前後に近隣学生向けの就職ガイダンスも同時開催予定。【産業まちづくり委員会】 2. 廿日市市雇用対策協定に基づき、雇用対策に関する関係課の取り組みやハローワークとの連携を確認し、引き続き一体となって雇用対策を推進していく。【産業振興課】 3. ハローワーク廿日市と共催で、子育て世代向け就職ガイダンス「IKU×JOB」を秋頃開催予定。【産業振興課】 4. 外国人材の確保を支援するため、事業者（好事例となる2社を予定）の職場環境や求人情報などをWEBで多言語により広く発信する。【廿日市商工会議所】 5. 求人情報誌（わーくわく大野）の作成。事業所のお仕事内容、働く人の声を中心に掲載して、事業所の良さを知っていただく【大野町商工会】 6. 昨年度に引き続き、宮島町独自の人材確保支援事業（求人HP「宮島お仕事探しサイト」の運営、複数の求人媒体を一括管理する採用支援システム「エントリーポケット」の無償提供、若年層に強い「SNS連動広告」の無償提供）を実施。【宮島町商工会】	5. 登録事業者数（現在33事業所…会員の14%）を更に増やしていきたいが周知の仕方が難しいと感じている。既に登録し活用中の事業者からは大好評である。【宮島町商工会】	市の就職支援施策への 参加者数
		③人材の育成支援	中小事業者が人材育成に取り組みややすい環境を整備し、従業員の能力向上と定着を促進する。	1. 事業者の経営力強化や生産性向上を図るため、中小企業大学校広島校研修受講補助金を設けている。昨年度実績3件【産業振興課】 2. 市内事業所で働く外国人従業員（30名程度）の日本語教育支援として、オンライン日本語教室を提供し、日本語能力の向上を支援する。【廿日市商工会議所】 3. 人材育成を目的とした人材活用助成金セミナーを開催する。【廿日市商工会議所】 4. 従業員のモチベーション向上を図り、職場定着に繋げる「個人の力・チームの力を引き出すメンタル」セミナーを令和8年10月28日に開催する。【廿日市商工会議所】 5. 採用力強化セミナーを開催。人材採用活動に関する知識やノウハウの不足を解決し、効率的な人材確保に繋げる【大野町商工会】		直近5年間で、社外研修 や資格取得等の受講を 支援している事業者割合
1-2 多様な人材の活躍の 促進と働き方改革の推進 目標指標：従業員の定着率が改善した事業者割合		①多様な人材の活躍 の促進	経営層に対して多様性経営の意義と効果を訴求し、柔軟な雇用環境の整備と人材活用の意識改革を通じて、事業者の経営革新、人手不足解消、生産性向上を実現する。	1. 8月「子育て世代・シニア世代が活躍する職場づくりセミナー」、11月「障がい者雇用促進セミナー」の開催を予定しており、経営者や人事担当者の理解促進を図る。【産業まちづくり委員会】 2. ダイバーシティ経営に取り組む企業の事例紹介として、事業者を取材し「今こそ廿日市」に掲載予定。紹介ページへ誘導し、閲覧数を増やすため、SNS広告も実施予定。【産業まちづくり委員会】 3. 外国人材の活用を促すため、市内事業所（2者）を好事例として取材し、制度説明などと合わせて、地域の事業者等に向けて広くホームページやSNSなどで紹介する。【廿日市商工会議所】 4. 就業規則の整備や厚生労働省の補助制度を活用し、事業所の雇用環境整備を支援する。【佐伯商工会】		ダイバーシティ関連セミナー・交流会等への参加事業者数
		②働きやすい職場環境 整備支援	多様な人材が能力を発揮できるよう、誰もが安心して働き続けられる職場環境の整備を促進し、包摂的な雇用基盤を形成する。	1. 地域全体でこども・子育て世代を応援する機運を高め、働きやすい環境づくりを推進するため、「はつかいち子育て応援宣言企業」登録制度を実施しており、6月時点で73事業所登録済み。【産業振興課】 2. 男性の育児休業取得や子の看護等休暇取得を促進し、働きやすい職場環境の整備を推進するため、「男性育児休業取得促進奨励金」「男性の子の看護等休暇取得促進奨励金」を実施している。昨年度は「男性育児休業取得促進奨励金」14件の申請があった。【産業振興課】 3. 定着率向上や職場環境改善を目的とした労務対策セミナー、人材活用助成金セミナーを開催する。【廿日市商工会議所】		男性育児休業取得率

第2次廿日市市産業振興ビジョン進捗管理シート

方向性2 「事業者」	施策/目標指標	個別施策	目的	令和8年度主な取組内容	令和8年度課題／困りごと、今後の見通し	個別施策指標
	2ー1 事業者の 留置・誘致 目標指標：市の取組により新規立地・拡張した事業者の雇用創出数	①産業団地整備	事業活動に適した産業団地を計画的に造成し、新規事業者を誘致するとともに、既存市内事業者の安定的な操業環境を確保することで、市内事業者の市外流出を防止し、地域内での新規投資と雇用創出を促進する。	1.【新機能都市開発事業】 ・団地造成 平良丘陵開発土地区画整理組合と連携し、インフラ整備等に取り組んでいる【都市活力デザイン課】 ・Aエリア(観光交流施設用地) 事業候補者(西松建設等)がテナントリーシングを開始したことに伴い、本市としても市内事業者等(生産者や関連団体)の事業関与に向け、情報提供やマッチング等を行っている。また、行政課題の解決(市民利用の促進等)を図るため、Aエリア内で公共施設等(公園・緑地、木育体感施設等)の整備に向けた取組を推進している【産業振興課】 2.【未来物流産業団地造成事業】 ・団地造成 2026年1月より造成工事に着手している【都市活力デザイン課】	1.【新機能都市開発事業】 ・Aエリア(観光交流施設用地) 市の公共施設等(木育体感施設)の整備等について、可能性調査(サウンディング)を行い、整備方針等を決定する。【産業振興課】 ・Bエリア(工業施設用地) 平良丘陵開発土地区画整理組合と連携し、立地予定事業者を訪問する【産業振興課】 2.【未来物流産業団地造成事業】 ・企業誘致(立地企業の募集等) 市内外の事業者に対し立地意向調査を行うとともに、公募に向けたスケジュールや公募要件等を整理する【産業振興課】	市内工業団地の分譲率
		②事業者誘致の推進	地域外からの投資流入による経済活性化、若年層の地元定着促進、地域産業の多様化と競争力向上を実現する。	1. 広島県と連携し実施しているオフィス誘致助成制度や、国の制度等(地方拠点強化税制)を活用するなどし、市外事業者の本市への立地を促していく【産業振興課】	1. オフィス用物件が本市内に少ないことが、オフィス系企業の誘致に関する大きな課題になっている【産業振興課】	オフィス誘致施策により立地した事業者の累計
	2ー2 事業者の 持続的成長の支援 目標指標：営業利益が増収又は増加見込みの事業者割合	①創業・事業承継支援の充実	創業希望者が安心してチャレンジできる環境と、地域事業者が次世代へ円滑に事業を承継できる支援体制を構築により、地域における事業の持続性と次世代への経営資源の継承を実現する。	1. <創業塾の開催> ・何かを始めたいという思いはあるものの、廿日市で創業するイメージが描ききれていない方を対象に創業意識啓発セミナー「しゃもじん創業塾(入門編)」を開催。(7/22)【産業まちづくり委員会】 2. 経営や財務、人材育成、販路開拓等の知識習得により円滑な創業を支援するとともに、・創業に向けた事業計画を策定するための準備と手法を学ぶ「しゃもじん創業塾」を令和9年1月及び2月開催予定。【産業まちづくり委員会】 3. <創業補助金の交付> ・創業前、創業後の負担を軽減し、新たなビジネスや雇用の場の創出、持続的な事業展開を支援するため、創業支援補助金を交付。(7/31申請〆)【産業まちづくり委員会】 4. 創業予定者に対して「廿日市市市創業支援補助金」の周知と策定支援。【佐伯商工会】 5. 「津田商店街を創る会」の運営補助並び連携を取ることで、創業希望者への空き家情報の提供や地域の方々と触れあう機会を提供。【佐伯商工会】 6. 各種相談に対応するために廿日市市専門家派遣制度を活用して派遣。【佐伯商工会】	1. 今年度から本格的に創業意識のレベルに応じて、「入門編」と「事業計画作成編」に分けて創業塾を開催するため、アンケートやヒアリングを通じて課題や改善点などの抽出を行う。【産業まちづくり委員会】 4. 創業支援補助金の補助上限額が低いという意見がある。申請件数によっては、R9年度以降は、上限額を引き上げる(50万円→75～100万)ことで、事業支援に幅を持たせる等の検討したい。【佐伯商工会】 5. 事業承継問題が深刻。後継者不在による廃業が増加している。(R6/6件→R7/10件)【佐伯商工会】	・創業支援事業計画に関する相談を支援した対象者のうち創業が実現した者の数 ・行政・支援機関のサポートによる事業承継の実現件数

第2次廿日市市産業振興ビジョン進捗管理シート

方向性2「事業者」		施策/目標指標	個別施策	目的	令和8年度主な取組内容	令和8年度課題／困りごと、今後の見通し	個別施策指標
		2ー2 事業者の 持続的成長の支援 目標指標：営業利益が増収又は増加見込みの事業者割合	②販路開拓と 売上向上の支援	新たな市場に挑戦し、持続的な収益基盤を確立できるよう支援し、事業者の経営改善と売上拡大、経営基盤の強化及び事業の安定化を図ります。	1. 例年好評の「はつかいち異業種交流会」は2027年2月開催予定。【産業まちづくり委員会】 2. はつかいちmottainai大作戦サイト改修。1.トップページの改修 2.カテゴリの再構成とタグの導入 3.記事読了後のアクション明確化 4.新規掲載店12店舗(取材・掲載)予定【産業まちづくり委員会】 3. 廿日市商工会議所商業部会・サービス業部会合同で「地域特性から考える！廿日市市での事業経営」と題したセミナーを令和8年9月10日に開催する【廿日市商工会議所】 4. 2025年に発生したかきの大量へい死により一時的に経営に支障をきたすかき養殖を支援するため、金融機関からの融資に対する利子負担の軽減を目的とした補助を行うことで、経営の安定化を図る(2025年から融資の受付を開始し、今年度から2036年にかけて利子補給を実施)。【農林水産課】 5. かき筏等の資材価格の高騰を受けるかき養殖業者の経営改善と事業継続のため、養殖資材の高騰に対応した支援金を給付する。【農林水産課】 6. かき養殖の安定的な生産を行うため、漁場の底質等の環境調査を行い、清掃活動や環境改善の取組に要するコスト把握を行う。【農林水産課】 7. 漁船による不慮の事故や、不漁による経営悪化に備えるため、漁船保険や漁業共済の加入に要する保険料の一部を助成し、漁業経営の安定化を図るとともに、漁業経営力の強化を図る。【農林水産課】 8. 市場出荷せず、スーパーなどの量販店において「廿日市産の農産物コーナー」としてPRし、新たな販路開拓を通じた担い手の所得向上を目指す「廿日市美味しいプロジェクト」が進んでおり、若手生産者とともに市も話し合いの場に参加するなど、伴走支援を行った。【農林水産課】 9. 国「小規模事業者持続化補助金」等の制度周知。【佐伯商工会】 10. 「まちの駅Adoa」、「ひろしま夢ぶらざ」等への出展支援。【佐伯商工会】 11. 観光体験事業者に対するコンテンツ内容のブラッシュアップと観光系出展会への出展支援。【佐伯商工会】 12. 事業者情報誌(プレス大野)を作成し、地域へ全戸配布する。小規模事業者の商品やサービスの周知を図り、集客や売上増加に繋げる。【大野町商工会】	4. かき養殖業者の経営改善に向けた支援策は実施しているが、かき大量へい死の原因や対策については明確な結論が出ていないことから、引き続き、国や県などの研究機関に対し原因と対策の説明を求めていく。【農林水産課】 8. 認定農業者など主な担い手は、独自のルートを持っている生産者が多いため、その状況把握が必要。また、こうした動きに連動した流通の仕組み作り、新たな売り先の確保などの販路開拓、所得向上により、生産量を増やす取り組みが必要。【農林水産課】 10. 新拠点(上平良、吉和)と地元事業者との接点が未構築。【佐伯商工会】	異業種交流会の参加事業者数
			③生産性向上・ 高付加価値化の支援	設備更新や事業拡大への支援により、中小事業者の経営安定化と競争力強化、人手不足に対応した持続可能な事業運営を支援する。	1. 廿日市市中小企業融資制度を運用し、中小企業の資金調達環境の改善と経営の安定化を図る。【産業振興課】 2. 生産性向上のために、林業機械の購入に対する補助を行う。【農林水産課】 3. 林業従事者の技術力向上を図るため、研修費の補助を行う。【農林水産課】 4. 認定農業者、新規就農者の育成について、市農業指導員を中心に経営改善計画の相談、技術的支援を行った。【農林水産課】 5. 認定農業者等の経営安定化を図るために、機械等の導入支援を行うとともに、物価高騰対策として高騰する肥料の購入費用の一部について、兼業農家(販売農家)を対象に支援した。【農林水産課】 6. 佐伯地域、吉和地域の農作業受託組織への機械等の導入支援を行った。【農林水産課】 7. 国「小規模事業者持続化補助金」、広島県「中小・小規模事業者等の計画的経営改善応援補助金」等の制度周知。【佐伯商工会】 8. 小規模事業者持続化補助金(国)や中小・小規模事業者等の計画的経営改善応援補助金(県)を周知し申請を支援する【大野町商工会】	2. 設備が更新され、生産性が向上しても森林整備の仕事が安定的に確保出来なければ意味が無いので、森林整備も行われるように全体のバランスを図って支援を行っていく。【農林水産課】 5. 今後も中東情勢の悪化やナフサの需給逼迫の影響により、被覆資材など農業用資材が高騰することで、担い手がビニールハウス等の導入・更新において、通常より経費がかさむことによる経営圧迫への懸念がある。【農林水産課】 5. 物価高騰により、農業用機械の導入・更新にかかる経費がかなり上昇してきている。【農林水産課】 7. 廿日市市独自の支援補助金制度が無いため、市独自支援策が少し乏しい。制度設計を要望。【佐伯商工会】	設備投資を行った事業者数

第2次廿日市市産業振興ビジョン進捗管理シート

方向性2 「事業者」		施策/目標指標	個別施策	目的	令和8年度主な取組内容	令和8年度課題／困りごと、今後の見通し	個別施策指標
2ー3 環境と調和した産業の推進 目標指標：環境に配慮した経営に取り組むよう努めている事業者の割合			①ネイチャーポジティブ経営の主流化	事業活動において、生物多様性への配慮や自然資本の保全・再生に取組み、地域の自然環境の保全に貢献する事業者の拡大を図る。	1. 生物多様性地域戦略を策定し、地域の自然資本を活かした地域づくりの方向性を明確化するとともに、企業、団体、市民など多様な主体が連携・協働し、地域課題の解決や新たな価値創出につながる仕組みについて検討する。【環境共生課】 2. 環境政策委員会で事業者で貢献できないか市と協力して模索。【廿日市商工会議所】	1. 脱炭素に加え、生物多様性・持続可能性への配慮は、サプライチェーンや消費者から企業に求められる重要な要素となっているが、ネイチャーポジティブ経営に対する認知や取組は、脱炭素経営と比べて十分に進んでいない。【環境共生課】 1. 企業に対し、生物多様性保全が企業価値の向上や新たなビジネス機会の創出につながることを周知し、地域資源を活用した企業の取組を促進していく。【環境共生課】 1. 企業による市内フィールドへの保全活動等の支援について検討を進める。【環境共生課】	ネイチャーポジティブ経営に取り組むよう努めている事業者の割合
			②脱炭素経営の推進	市内事業者の実態に応じた再エネ導入、省エネ対策の支援を通じて、地域脱炭素化の実現を目指す。	1. 事業者の再生可能エネルギー及び省エネルギー設備の導入を支援する。「事業所用創エネ・省エネ設備導入促進補助金」、「太陽光発電設備導入促進補助金」、「事業所用省エネルギー導入設備促進補助金」、「次世代自動車導入促進補助金」【環境共生課】 2. 廿日市商工会議所アクションプランにて事業者向けの啓発事業を展開【廿日市商工会議所】 3. 「広島県中小企業省エネ設備等導入支援補助金」等の制度周知。【佐伯商工会】	1. エネルギー価格の高止まりや脱炭素に関する社会的要請の高まりを背景に、省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入ニーズは引き続き高い。【環境共生課】 1. エネルギーコストの削減や取引先からの脱炭素要請への対応は、中小企業の競争力強化にもつながることから、設備導入支援と情報提供を通じて脱炭素経営への移行を促進し、地域企業の持続的な成長を支援していく。【環境共生課】	地球温暖化対策に取り組むよう努めている事業者の割合
			③サーキュラーエコノミーの推進	資源の有効活用や再利用の促進、廃棄物の発生抑制と再資源化の取組を進め、環境負荷を低減しつつ経済成長する循環型経営を推進する。	1. 市内飲食店や小売店と連携した「食品ロス削減協力店制度」や「フードドライブ」の実施により、食品ロスの削減につとめることで、廃棄物の発生を抑制するとともに、市民へ環境に配慮した店として、PRを行う。【循環型社会推進課】 2. 管内事業者へのクラウド会計導入促進と、ペーパーレス化の推進。【佐伯商工会】	1. 今後の課題として、プラスチック使用製品廃棄物の資源化品目の拡大に関して、事業者から排出される対象品目の整理が必要となる。【循環型社会推進課】 2. 管内事業者の情報リテラシーが低い。【佐伯商工会】	廃棄物処理における二酸化炭素排出量

第2次廿日市市産業振興ビジョン進捗管理シート

方向性3「地域」		施策/目標指標	個別施策	目的	令和8年度主な取組内容	令和8年度課題／困りごと、今後の見通し	個別施策指標
3－1 観光による 地域経済活性化 目標指標：観光消費額			①観光消費の拡大	観光コンテンツの開発等の取組により、「見る観光」から「体験し、買う観光」への転換を図り、観光の質的向上と消費喚起を実現する。	1. 宮島エコツーリズム推進協議会の宮島さくら・もみじプロジェクトとして、エコツアーを造成する。【観光課】 2. 中山間地域の観光コンテンツ強化、誘客促進【はつかいち宮島ツーリズム】 ・インバウンドの販路開拓 佐伯商工会やはつかいち森の遊び場協議会との連携強化 ・教育旅行等バス代補助金の拡充 小中高だけでなく、企業研修の実施等を対象とする。 3. はつかいちコレクションの開催【はつかいち宮島ツーリズム】 ・世界遺産・宮島をはじめ、けん玉発祥の地としての歴史、そして豊かな自然が育む農産物などの多彩な魅力、これらに関わる『ヒト・モノ・コト』を一つの場所に集める（コレクションする）ことで、市民や観光客が地元の魅力を再発見（認知）し、生産者や事業者と消費者が直接つながる場を創出することを目的として実施する。 4. R7年度実施した観光コンテンツ開発事業「中山間地域魅力発見ツアー」に参画した事業者のコンテンツをブラッシュアップし、モデルコースを作成して、9月に東京ビッグサイトで開催される” ツーリズムexpo2026”へ広島観光連盟やはつかいち宮島ツーリズムと連携して出展する。【佐伯商工会】 5. 宮島対岸リゾートエリア協議会を立ち上げ、宿泊業を中心に連携を図り、地域の魅力発信と集客に繋げる。【大野町商工会】 6. 引き続き「宮島観光デジタルマップ」において、店舗情報や体験施設などを表示させる取り組みを進めている。また当協会SNS上で、体験施設等を含む個別店舗紹介のリアル動画を掲載中。【宮島観光協会】 7. 2つの体験型ツアーを取組として実施。 ①ウッドワン美術館による夏季展示を活用した、ファミリー向けのワークショップツアーを実施し、芸術の鑑賞から体験へ転換し質的向上を測る。 ②めがひらスキー場ともみのき森林公園を活用した冬期バスツアーを実施し、スキーや 雪遊びによる冬の体験を提供。【はつかいち観光協会】	1. 造成した観光コンテンツの販売促進としてランドオペレーター等の発掘や連携に向けたアプローチを行う。【観光課】 2. 課題等 ・事業者ごとで、受入環境の状況が異なり、温度差もあることから、実態に合わせた取組が必要である。【はつかいち宮島ツーリズム】 2. 3. 今後の見通し ・「はつかいちコレクション」は、今年度から開始した事業であり、様々な事業者や団体を巻き込みながら、着実に育てていくこととする。【はつかいち宮島ツーリズム】 4. 各者のコンテンツとしての整備が不十分。【佐伯商工会】 4. 支援団体である商工会に観光業支援にノウハウが足りないため、DMO等との連携強化が必要。【佐伯商工会】 6. 現時点デジタルマップやSNSでの各店舗紹介については、当協会「会員」への入会メリットに位置付け、会員の情報を提供、会員のメリットの維持と最新情報掲載との両立が課題【宮島観光協会】 7. ツアー実施において物価高による交通機関等の費用の上昇やサービスの廃業等による参加費用の増加やコンテンツの減少が課題。 ・今後も参加の割合が多い広島市をはじめとした隣接する市町村を中心にツアーの展開や情報発信を行い集客を目指す。【はつかいち観光協会】	1人あたりの観光消費額
			②観光客の回遊性向上	宮島と市街地（観光交流エリア）、自然体験などを組み合わせたモデルコースの提案により、観光客の回遊性を高め、観光を通じた地域内経済の循環を促進する。	1. 厳島神社世界遺産登録30周年記念事業の一環としてデジタルスタンプラリーを実施し、宮島+宮島周辺の周遊を促す。【観光課】 2. （再掲）中山間地域の観光コンテンツ強化、誘客促進【はつかいち宮島ツーリズム】 3. マーケティング強化【はつかいち宮島ツーリズム】 ・宮島観光客へのアンケート実施（強化）による実態調査 観光客の趣向・ニーズ、他地域への誘導可能性等の把握 4. 単独事業者だけでは観光客の集客が難しいため、管内の複数の事業者が連携したモデルコースを造成することで、回遊性を持たせる。【佐伯商工会】 5. 宮島対岸リゾートエリア協議会を立ち上げ、宿泊業を中心に連携を図り、地域の魅力発信と集客に繋げる。【大野町商工会】 6. 観光交流エリア内の「西地区」や町家通りエリア等、観光客が集中しがちな商店街エリア以外の周遊強化に向け、SNS上でのリアル動画等で紹介。また「ナイトコンテンツの充実」のため、30周年実行委員会で「ロープウェー夜間営業」や「神社夜間特別拝観」実施の取り組みや既存のナイトイベントに「宮島夜市(11/21)」を組み合わせ、周遊の強化を図っている。【宮島観光協会】 7. 現状として宮島を組み合わせたツアーは無いが、下記ツアーを廿日市市街を中心に実施している。 ①洞雲寺や西国街道、津和野街道等のモデルコースを作成。ガイドによる歴史解説や自然体験による地域内での観光消費を誘導。 ②初心者に敷居が高い廿日市20名山を、ガイドによる登山バスツアーとして実施し自然体験を提供。初心者から中級者、健脚者向けのコースを提供し、幅広いニーズに対応している。 ③上記取組のモデルケースによるリピーターの創出を行い、廿日市地域の回遊性を高め、地域内経済の活性化を測る。【はつかいち観光協会】	1. 厳島神社と地御前神社等のつながりを生かした施策を検討する。【観光課】 2. 3. 課題等 ・定期的なアンケート収集の仕組みづくり【はつかいち宮島ツーリズム】 2. 3. 今後の見通し ・宿泊事業者等への定期的なヒアリング等を通じて、効果的なマーケティング手法を構築する。【はつかいち宮島ツーリズム】 4. 旅行会社等へのPRが必要【佐伯商工会】 6. ナイトコンテンツの充実について、30周年記念事業として、ロープウェーや厳島神社様に事業の展開を受け入れていただいたが、今後これをきっかけに継続的に事業が実施できるかが課題である。【宮島観光協会】 7. 取組1のボランティアガイドツアーにおいては実施内容のマンネリ化による参加者募集に苦戦の傾向がある。 ・取組2の登山ツアーは募集人を超える参加者が多い傾向にあるが、熊や蜂等の動物の対策が課題。熊の出現情報の確認やスプレー配布検討を行う。 ・宮島への観光客は日帰りの傾向にあり、体験を行える中山間地域への移動時間や費用を考慮すると計画の作成が難しく、比較的割安でコンテンツが密集している広島市と比較し見込みが少ない。 ・その他代替の取組として宮島口のはつかいマーケットにおいて廿日市の事業者の物品を販売し、来島した観光客の旅アトの提供と地域内経済の循環を促進。【はつかいち観光協会】	宮島地域以外の入込観光客数

第2次廿日市市産業振興ビジョン進捗管理シート

施策/目標指標		個別施策	目的	令和8年度主な取組内容	令和8年度課題／困りごと、今後の見通し	個別施策指標
方向性3 「地域」	3－2 地域資源の 発掘・活用 目標指標：「木のまちはつかいち」の認知度	①地産地消による 域内循環の強化	学校給食、公共施設、福祉施設など安定的な販路の確保や、宿泊施設・地元店舗・商店街等と連携したキャンペーンの実施等により、地域内で「一次産品と食の循環モデル」の構築を図り、一次産業の収益性と魅力を高め、担い手の確保、育成につなげる。	1. 農業関係者や関係企業を巡る「食の旅ツアー」を10月に実施予定。市内に位置する食関連事業者と連携し、農産物の生産、卸売、小売、飲食に関する体験、工場見学を実施する。【産業振興課】 ・4月の「はつかいち桜まつり」にて、産業振興課、農林水産課、循環型社会推進課が連携し、モッタイナイ大作戦の周知・啓発を行った。【産業振興課 農林水産課】 2. 学校給食への水産物の利用を促進し、地産地消や児童への魚食普及を図るため、県事業（「おいしい！広島」農林水産物給食等提供事業）を活用した、学校給食センターへの食材（かき、広島サーモン等）提供を行う。【農林水産課】 3. 木材利用促進事業として、市産材（廿日市市内で伐採した木材）を活用し、公立保育園に屋外遊具を設置する。【農林水産課】 4. 市内経済団体と連携し、10月の1か月間、「はつかいち地産地消月間」を実施し、市内産農林水産物の魅力をPRした。また、「モッタイナイ廿日市」を食品ロス啓発運動、地産地消推進運動と合わせて食に関する情報を一元化し、相乗効果を図った。【農林水産課、産業まちづくり委員会】 5. 「ひろしまフードフェスティバル（10月開催）」に計5店舗が出展し、廿日市市ブースにおいて廿日市の食の魅力をPRするとともに、出展調整について市内経済団体と進めた。【農林水産課】 6. 市内経済団体と連携し、はつめしプロジェクトを進めていくため、地産地消宣言店の掲載店を増やすための取り組みを行い、新たに7（累計20）店舗が登録された。【農林水産課】 7. 管内事業者のつなぎ（一次産品と食の循環モデル）【佐伯商工会】 8. 商工会広報誌を活用した会員情報の周知と、地域内における認知度向上【佐伯商工会】	2. 水産物の生産が不安定なこと、給食利用するための給食センターのオーダーへの対応が困難なことがあり、漁協等の提供元との事前調整を要する。【農林水産課】 3. 令和8年度は2園に設置する予定。【農林水産課】 4. 地産地消宣言店の取り組みを広く知ってもらい、掲載店を増やしていくほか、市内経済団体と連携して、効果的なPRを行っていく必要がある。【農林水産課】 4. 学校給食や市内飲食店等の求める作物の量や時期と生産者の希望する出荷量や出荷時期の差異が生じており、地産地消を進めるためには、これらを調整しマッチングを進めていく必要がある。【農林水産課】	市内食材調達率
		②「木のまちはつかいち」ブランド深化と展開	「木のまちはつかいち」というブランドの発展のため、大学連携による木材関連事業者の新商品展開支援や木に親しむ体験型施設の整備、「木の旅ツアー」等の体験プログラムの企画、実施等を通じて市内外への情報発信を強化します。	1. 好評の「木の旅ツアー」を令和9年3月に実施予定。川上から川下に沿って木材関連事業者等を訪問し、木の伐採体験や工場見学等を行う。【産業振興課】 2. 昨年度に引き続き、木のまち廿日市をPRするため、はつかいち木工研究会と広島工業大学森田ゼミの新3年生のプロジェクトが開始された。【産業振興課】		木工コンクールの参加者数
		③伝統産業の 維持・発展支援	伝統的技術の継承を担う後継者の育成を促進や伝統的工芸品を一体的に情報発信すること等により地域文化への理解促進と伝統産業の振興を図る。	1. ＜地域支援員による宮島細工の認知度向上、新商品開発、販路開拓の取組＞ ・メディアを通じた認知度向上、体験事業の実施、他業種と連携した新商品開発など、伝統産業の振興に向けて中心となって活動。【産業振興課】 2. ＜後継者育成事業の実施＞ ・宮島細工の技術を後世に引き継ぐため、ろくろ細工と宮島彫りの後継者育成事業を継続して実施。【産業振興課】 ・宮島彫りについて新規に研修生を募集(2名)。【産業振興課】	1. 2. 伝統産業担当の地域支援員は3年目であるため、令和8年度中に新たな地域支援員を募集、決定する必要がある。【産業振興課】	伝統的工芸（宮島細工）に従事している人の数
		④「けん玉のまちはつかいち」の振興	世界中のけん玉プレイヤーが集うけん玉W杯の継続開催や、学校、地域イベント等での普及活動の展開により、世代を問わず市民がけん玉に親しむ機会を創出し、「けん玉のまち」としての地域ブランド価値を高める。	1. ＜けん玉ワールドカップの開催＞ ・けん玉ワールドカップを11月に開催予定。 ・小学生を対象に、同日「けん玉ジュニアカップ」を開催予定。【産業振興課】 2. ＜けん玉ワールドカッププレイベントの開催＞ ・けん玉ワールドカップの機運醸成を図るため、開催前の10月にプレイベントを開催予定。【はつかいち宮島ツーリズム】 3. 観光体験コンテンツにけん玉製造業者と連携し「けん玉」に関するメニューを組み込む。【佐伯商工会】 4. まちの駅ADOA大野で開催する各種イベントで「子どもけん玉大会」を開催。【大野町商工会】	1. 令和7年度、けん玉ワールドカップと同日、小学生を対象とした「けん玉ジュニアカップ」を初めて開催したが、参加者数が少なかったため、内容、周知方法の見直しが必要。【産業振興課】	市が実施・支援するけん玉イベント等に参加した人数
		⑤地域の匠発掘・支援	伝統工芸に限らず、地域には多くの匠の技を有する人材が存在します。これらの技術を発掘・整理・発信することにより、地域の魅力を再発見し、産業振興、観光誘客、教育分野での活用を促進することで、地域産業の活性化を図る。	1. 市内クラフト職人13人を紹介する冊子「HATSUKAICHI CRAFTSMAN」を作成。今年6月に広域都市圏番組RCC「二百万一心！元就。」で2名の職人に出演してもらい、広く周知を行った。【産業振興課】	1. 事業者の受け入れ態勢の構築【佐伯商工会】	地域の匠データベース登録者数

第2次廿日市市産業振興ビジョン進捗管理シート

方向性 3 「地域」	施策/目標指標	個別施策	目的	令和8年度主な取組内容	令和8年度課題／困りごと、今後の見通し	個別施策指標
	3－2 地域資源の 発掘・活用 目標指標：「木のまちはつかいち」 の認知度	⑥商店街活性化支援	空き店舗や商店街みんなの広場マルマルの利 活用支援等を通じて、創業支援、チャレンジ ショップの展開、サテライトオフィスの誘致 などを推進し、多様な人材の参入を促進する ことで、商店街に新たな活力と交流の場を創 出し、地域経済の循環とコミュニティの活性 化を図る。	1. 4月から広場利用に関する要綱を設置し、一般でもマルマル広場の利用が 可能となった。自主的なイベント開催にも利用がされつつあり、今後の商店街 活性化が期待される。【産業振興課】 2. けん玉商店街の複数テナント物件を所有するオーナーに対して不動産活用 計画策定支援を実施、それを通じて面的な魅力向上を図る【廿日市商工会議 所】 3. 11月に厳島神社世界遺産登録30周年記念事業として「特産品振興大会特別 展」をひろでん宮島まちづくり交流センターで開催予定。また、産業まつりに ついては例年以上の趣向を凝らし桟橋前広場で開催予定。【宮島町商工会】 4. 「津田商店街を創る会」主催の「津田商店街ふれあいマルシェ」（年2回 開催予定）の運営支援。【佐伯商工会】 ・津田商店街ふれあい駐車場内の掲示板設置による情報宣伝【佐伯商工会】 5. 「吉和週末マルシェ」の運営支援。【佐伯商工会】	1. 広場の場所がら認知されていないケースがあり、より広報的な周知強化 が必要。各イベント利用を増やし、利用例を作ることに努める。【産業振興 課】 3. 特産品振興大会は、例年やや集客に伸び悩んでいる。今年度はFMはつか いちの協力を得て、事前に広く周知し、集客できるよう努める。【宮島町商 工会】 4. 更なる広報活動が必要【佐伯商工会】	商店街みんなのマルマ ルの使用回数
	3－3 新たな関係人口 の創出 目標指標：副業・兼業の人材を活用 している事業者の割合					
		地域・外部人材の 活躍の場の創出	空き店舗やチャレンジスペースの活用、市内 専門人材のデータベース化、副業、兼業人材 活用セミナーの開催等を通じて市内産業の多 様化、地域課題への対応力強化、人材の定 着・循環による地域力の向上を図る。	1. 市担当者、地域支援員等との情報共有による円滑な情報提供【佐伯商工 会】 2. 広島県「兼業・副人材の活用に係る補助制度創設について 兼業・副人材の活 用に係る補助制度」の周知【佐伯商工会】		フリーランス人材デー タベースの登録者数

第2次廿日市市産業振興ビジョン進捗管理シート

施策/目標指標		個別施策	目的	令和8年度主な取組内容	令和8年度課題／困りごと、今後の見通し	個別施策指標
方向性4 「ネットワーク」	4-1 産業支援ネットワークの充実と連携強化	①地域産業支援体制の強化	産業まちづくり委員会の定期開催による情報共有と課題抽出、連携した取組の推進、市内の商工会議所及び商工会が実施する事業者支援への補助によるきめ細やかな支援など、支援機関間の連携強化により、地域全体の産業力向上を図ります。	1. 令和8年4月、廿日市産業まちづくり委員会を開催。各事業をスタートさせ、協同で事業運営、周知等を実施する。【廿日市産業まちづくり委員会】 2. 行政と経済団体の中東情勢の影響や物価高意見交換を行い、市域全体で一体的な支援を実施。【佐伯商工会】		
		②観光地域づくり体制の充実・推進	はつかいち版DMO(観光地域づくり法人)による観光地域づくりの推進支援を展開し、「マネジメント」、「マーケティング」、「プロモーション」を核とした戦略的な観光推進により、稼げる地域、持続可能な観光地域づくりを実現する。	1. ■マネジメント【はつかいち宮島ツーリズム】 組織基盤の安定化・強化を図るとともに、観光振興基本計画に基づく戦略の検討を行う。また、地域のステークホルダーと協力・連携体制を構築する。 2. ■マーケティング【はつかいち宮島ツーリズム】 ①観光事業者のDX化に向けたヒアリングと伴走支援策の検討・DMP活用促進、宿泊アンケートの実施、事業者の経営効率化に向けたDX化推進検討 ②DMPの再構築と具体的活用案の検討年度以降のKPI、KGI設定にも活用。今期は基盤整備の一年と位置づける ・地域事業者による活用とDMOが行うプロモーション活動の活用を見据えた設計とDMPIに取り入れるデータの選択と事業者の活用を意識したダッシュボードの基本設計を行う。 3. プロモーション【はつかいち宮島ツーリズム】 ①戦略的なプロモーションの仕組みづくり ②フランスプロモーション(9月上旬)、ツーリズムEXPOジャパン(9月下旬) ③公式インスタグラムの開設と情報発信 ④観光ガイドブック(多言語化対応)の作成 ⑤はつかいちの認知度アップと地域ブランド育成イベント「はつかいちコレクション」の開催・運営 4. マルシェ等の集客イベントへの出店・運営支援(フードダイバーシティ対応メニュー)【DMO、廿日市商工会議所】 5. 食の体験(ヴィーガン対応等)のテストマーケティング【DMO、廿日市商工会議所】 6. 新規店舗を追加したフードマップ冊子改訂・増補版作成【DMO、廿日市商工会議所】 7. HEREコンテンツ拡充・紙媒体(ポスター)によるサイトへの誘導策の実施【DMO、廿日市商工会議所】 8. 「はつかいち森のあそび場協議会」を通しての佐伯、吉和地域の体験観光系事業者の連携強化。観光事業者だけでなく、やる気のある事業者の新規加入や部会制による関係性強化の実施。近隣地域との連携により当地域の不足部分(宿泊施設やノウハウ等)を補う体制づくり。【佐伯商工会】 9. (再掲)宮島対岸リゾートエリア協議会を立ち上げ、宿泊業を中心に連携を図り、地域の魅力発信と集客に繋げる。【大野町商工会】	1. DMO設立初年度であり、まずは着実に施策・事業を推進できる組織体制・運営基盤づくりを行う。【はつかいち宮島ツーリズム】	
		③産官学による連携体制の構築と活用	市内産業の課題解決や新たな価値創出に向けて、大学との連携を強化し、研究成果や専門人材の活用を通じた事業支援を推進し、地域課題の共有と解決、若者の地元志向の醸成を図り、地域産業の振興と人材確保の両面での相乗効果、若者の地元定着促進、地域全体の産業力、魅力の向上と持続可能な発展を実現する。	1. (再掲)昨年度に引き続き、木のまち廿日市をPRするため、はつかいち木工研究会と広島工業大学森田ゼミの新3年生のプロジェクトが開始された。【産業振興課】 2. 山陽女子短期大学ボランティアサークル「ピクニック」と協同でけん玉商店街活性化課題解決プロジェクトを企画予定。【産業振興課】 3. 広島工業大学建築学科上野ゼミ(新3年生)と広島電鉄、産業振興課で地域課題を解決する卒業研究をマルマル広場で企画中。【産業振興課】 4. 廿日市商工会議所の建設工業部会で、広島工業大学の「Fab Lab(ファブラボ)」を視察。地域連携と若者の地元定着の課題について意見交換を行った。【廿日市商工会議所】 5. FMIはつかいちとの連携による、管内事業所の認知度向上とPR支援【佐伯商工会】	8. はつかいち宮島ツーリズムとの連携強化。【佐伯商工会】	
	4-2 支援制度の認知度向上と利便性強化	産業施策に関する情報発信	市内の経営者が必要な情報を迅速かつ的確に取得できるよう、経営者向け情報サイト「今こそ廿日市」の機能を経営支援ポータルサイトとして強化するとともに、SNSや動画コンテンツを活用した視覚的、感覚的に訴求力のある情報発信を強化します。これにより、市内事業者による施策の活用促進、地元事業者の認知度向上とイメージ刷新、若者の地元事業者への関心喚起、市民の理解と応援の醸成を図る。	1. 創業補助金のチラシを作成し制度を周知。今年度は創業補助金を活用して創業された企業取材し記事化・紹介する予定。補助金の活用イメージを広く周知し、今後の応募につなげる。【産業まちづくり委員会】 2. 産業まちづくり委員会事業の発信(周知・事業紹介＋実績報告)【産業まちづくり委員会】		